



女性から見たIT Sの必要性和实用性

女性のクルマ生活で求められているものは
なにか。

2004 - 6 - 8

モータージャーナリスト・エッセイスト

岩貞るみこ



クルマ社会に於ける女性とは

- 運転がヘタ。
- メカ音痴。



女性の免許保有率は著しく上昇中

- しかし、積極的にクルマにかかわろうとは思っていない。



乗用車の乗車率……1.4人

女性がいかにひとりで【足】として乗っているか。

【足】として使うだけなら、すでにクルマの満足度は臨界点に達している。

「いつでも自由に動きたい」

「重い荷物を持って歩きたくない」

「雨に濡れたくない」



女性とは

「便利なことは積極的に利用したい」
でも「面倒はイヤ」
自由で、ワガママ。
勉強不熱心で、嗅覚だけあり。

そんな女性を納得させITSの世界に引きずり
込むのは大変



ITSの最近の5年間ほどの進化はすばらしく、
知らないうちにクルマ生活が便利になっている

事故の減少

渋滞の緩和

環境の向上

経済効果

気付かない間に生活の質が向上している。



日本の技術力は世界に誇れるもの

- 活用されてこそその技術も生きてくる。
- 本当に必要としているものを意識し、見極めて開発・運用して欲しい。



女性のクルマ生活とも密着しているITS について

- 道路交通情報
- 走行支援・安全運転
- カーマルチメディア
- ETC



道路交通情報

- カーナビ&VIC S
- 道路交通管制システム
- 雪などの天候情報

走行支援・安全運転

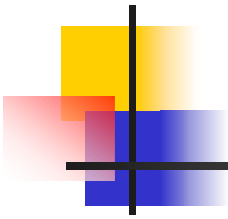
- 事故情報や天候情報
- 緊急通報システム
- 公共車両優先システム
- 知覚障害者などへの歩行支援システム



カーマルティメディア

- 観光案内
- レストラン / ホテル情報
- オンラインショッピング
- 車内ネット / TV

携帯電話やインターネットと食い合う部分があるので難しい。

- 
-
- ETC
 - 携帯電話やパソコンが普及していったように品質の向上、使い勝手の向上が不可欠。
 - 高速道路以外の展開が求められる。



おわりに

- 女性を攻略し、IT S 社会に賛同させるには、女性の動向を理解した上での対応が必要。